

ファザー・オブ・  
ザ・イヤー in みえ

大賞

津市

さかい ゆうき

坂井 勇紀さん

ゆうと

勇斗さん 親子

推薦者 本人(自薦)

育児対象 お子さん  
(高2、中3、小6、2歳)



**推薦文：**中学3年生の長男を推薦させていただきます。この長男が出来る男でございます。次男は現在2歳です。そろそろ出産が近づいて来た2年前の夏の終わりの時期でした。

我家は自宅で会社経営しており、秋の時期は定期契約の仕事が数件あり、出産と仕事で頭が一杯でした。更に、退院から数日後に深夜に帰宅する仕事が決まっており、風呂をどうしようかも困っていました。そんな時に、この出来る長男が「俺がお風呂(沐浴)してやるよ!」と言ってくれました。

妻が退院してきた日は私のお手本沐浴です。一通り説明し、身振り手振りで見せてあげました。翌日、長男の人生初めての沐浴です。沐浴方法は事前及び前日に説明はしてありました。しかし、イメージトレーニングと現実には大きな差があった様です。ブルブル震える手で首と耳を抑え、ガーゼで恐る恐る体を拭いてあげ、プカプカ浮いてくるお腹をお湯の中に浸けてあげていました。「怖い。怖い。」と何度も言っていました。首も腰も据わっていないので「それは怖いやろな」と思いながらも「まだまだ序の口」と心の中で思っていました。子どもは非常に敏感で、長男の不安感を感じたのかギャーギャーの大反響で可哀想なくらい、泣かれていました。その様なオーケストラ沐浴も数日で慣れてきて、次男もお風呂が気持ちよくなり、寝てしまうようなこともありました。「寝たぁ〜」と額に大粒の汗をかいて嬉しそうな顔をする長男を非常に嬉しく感じました。

次は湯船に浸かる難関です。長男が先に風呂に入りインターホンの呼び出しベルを鳴らすと体を綺麗に洗えた合図です。合図後、次男を風呂場内の長男に渡し、次の難関がスタートしました。姿勢は楽な姿勢ですが、次男の体中に付いた石鹸で「チュルンチュルン滑って行きそうで怖い」「体がフワフワや」と服を着ていない怖さをより一層感じたようです。頭・体洗い後は、

抱き上げ、浴槽を跨ぎ、湯船への移動です。何もかもが恐る恐るの行動でした。湯船に浸かっても、沐浴とは違い深いので「浮いてくるけど、落としそうで怖い」とカチコチな体で浸かっていました。「湯船に浸かれたな。序の口を通り過ぎたな」と思いながら、「そこからお前も湯船にプクプク……したんや」と思い出してました。次男は運よく湯船にプクプクする事なく、現在もお風呂に入れてもらっています。

その他全般、育児をしてきています。授乳(ミルク)、寝かしつけ等上手にしてくれました。男が寝かしつけを出来ると「出来たぞ!」と立派になった様な気になります。長男も、早くもそうなったのか、「俺が寝かしつける」と意気込んで家の中をダッコとユラユラ散歩してくれました。

ここで父親の私のことです。高校2年の長女、上記の中学3年の長男、小学6年の次女、現在2歳の次男の4人子どもがおります。子どもたちのお風呂は沐浴から小学校位までは私が入れておりました。夜中のミルクも私の当番と思い、2時間おきのミルクを作ってあげておりました。歯磨き仕上げ磨きも私の当番です。今でも子ども達は虫歯はありません。長女は女子高ですが、授業参観には私1人で行きます。次女も難しい時期ですが、出来るだけ接するようしております。自分がよき父親であるかどうかは分かりませんが、子どもたちが親になった時、「じいじはこんな事をしたんだよ」と言って子どもの時のエピソードを笑い話にしてくれたらいいなと思っております。長男には「子どもと一緒に風呂」と言う強い武器を生まれながらに持っている事を分かってもらえたら良いなと思っております。その強い武器は「母親と言う存在」には全く通用しないことは、将来のお楽しみとしております。

審査員共感  
ポイント

〇とにかく長男くんの育児ぶりに感動!自然に沐浴を協力できる場所は、パパの背中を見て育っているのかなぁ!と感じた。

〇長男に、一人の人として、育児に関わるという武器を備えたパパを評価したい。

〇世代を超えての育児は次世代につながっていくと思う。未来の育児男子!